



【お問い合わせ先】
株式会社ライフコーポレーション
社会・環境推進部
〒110-0016
東京都台東区台東1-2-16
TEL:03-5807-5468
FAX:03-5807-5891
HPアドレス <http://www.lifecorp.jp/>
2012年8月発行



ライフコーポレーション
社会・環境活動報告書2012



LIFE CORPORATION

social
environmental
activity
2012



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>

再生紙を使用しています

会社概要

ごあいさつ ～地域の皆様とともに～



代表取締役社長兼COO
岩崎 高治

昨年から今年にかけて日本国内では、東日本大震災をはじめ、大型台風・記録的な豪雪・竜巻の襲来等の大規模な自然災害に数多く見舞われました。特に、東日本大震災によって引き起こされた津波による福島第一原子力発電所の壊滅的な被害は、放射能漏れ・電力不足問題へと発展し、現在に至るまで国内経済および国民生活に極めて深刻な影を落としております。

このような環境下、食品の安全性・エネルギー問題および環境対策に対する国民の意識はかつてない高まりをみせており、弊社におきましては通常時はもちろん今回のような緊急時においても、地域の皆様へのライフラインとしての機能を果たし、安全・安心な商品を安定的に提供するスーパーマーケットとしての使命をしっかりと遂行し、地域社会に貢献できるように努めております。

震災直後においては、混乱する生産・流通ラインの中お客様のご期待に応えるべく、いち早く商品の安定供給体制への復旧をすすめ、首都圏の計画停電に伴う電力不足に対しては、深夜営業を中心とした営業時間の繰り上げをはじめとした数々の電力消費の削減取り組みを実施いたしました。また、夏場の節電対応においても、首都圏プロセスセンターへの自家発電機装置の設置、店舗・本社の空調温度の抑制・照明点灯の調整・社内におけるクールビズの採用・お客様への節電対応商品の拡販等に全社を挙げて取り組んでまいりました。また、食品の安全性においては首都圏プロセスセンターへ放射線検査機器を導入し、自主的なサンプリング検査を継続的に実施して安全性の確保に努めております。

以上のように昨年の東日本大震災以降、国内ではいまだかつて経験したことのない激動の連続となりましたが、弊社においては企業としての社会的責任を果たすべく、全社一丸となってそれぞれの課題に迅速に対応してまいりました。また、従来より継続して取り組んでおりますレジ袋の削減、牛乳パック・ペットボトルの店頭回収、食育ツアー等も着実に成果をあげてきており、今後共、環境活動や食育活動を通じて、お客様・地域社会の皆様とのつながりをより一層大切にしていきたいと考えております。

弊社は昨年の創業 50 周年を経て、今年度より社会からもお客様からも従業員からも「ライフっていいねえ！」といわれる会社を目指す、次の 10 年にむけての第四次中期 3 カ年計画をスタートいたしました。高い志をもち、地域の人々の幸せな生活に貢献するという弊社の経営理念の実現にむけて、お取引先様・全従業員と力を合わせて、各種取り組みをすすめていく所存でございます。

2012 年 8 月

四つ葉のクローバーマークの由来



真心をもってサービスにつとめ、
人々の豊かで幸せな暮らしに役立っていかう…
というライフの企業姿勢をシンボライズしたもの。

- 対象範囲
株式会社ライフコーポレーション
店舗・センター・本社
- 対象期間
2011 年 3 月 1 日～ 2012 年 2 月 29 日まで
※一部対象期間外の情報も掲載しています

新店舗紹介



久宝寺駅前店 2011 年 3 月



土佐堀店 2011 年 4 月



大淀中店 2011 年 7 月



春日野道店 2011 年 9 月



弁天町店 2011 年 10 月



あびこ店 2011 年 11 月



二条駅前店 2011 年 12 月



奥戸街道店 2011 年 4 月



大崎ニューシティ店 2011 年 5 月



吉川栄町店 2011 年 9 月



葛飾白鳥店 2011 年 11 月



菊川店 2012 年 1 月

会社概要

Contents

ごあいさつ	1
新店舗紹介	2

会社概要

会社概要・業務推移	3
ライフの環境憲章/経営理念/ライフ行動基準	4

取り組みと体制

食の安全・安心について	5
品質保証体制	7
検査実績	9
放射線検査の取り組みについて	10

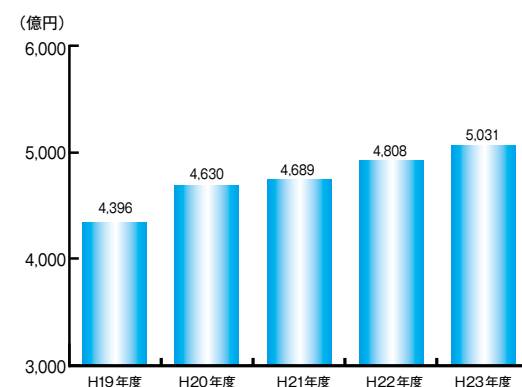
省エネ・3Rの取り組み

店舗での省エネの取り組み	11
物流センター等での省エネの取り組み/電気・ガス・水道の使用量/社内啓発	12
資源節約(Reduce)の取り組み	13
再利用(Reuse)の取り組み/資源リサイクル(Recycle)の取り組み	14
あだちエコネット/西宮市EWCエコカード	16
食品リサイクル(Recycle)の取り組み	17
リサイクルまとめ	18

地域の皆様と

食育体験学習	19
従業員参加寄付活動/店頭募金/お取引先様との共同寄付活動/ハートデザインプロジェクト/大江戸清掃隊	21
人にやさしい店づくり/災害時応援協定、津波災害・水害避難施設協定	22

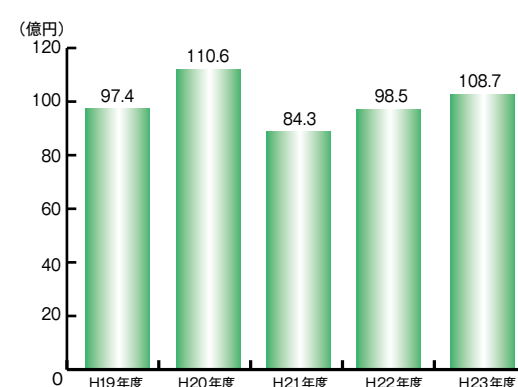
営業収益推移



会社概要

- 会社名……株式会社ライフコーポレーション
- 資本金……100億4百万円
- 営業収益……5,031億07百万円(平成24年2月期)
- 従業員数……19,194人(平成24年2月末)
※パートタイマーは8時間換算です
- 株式……東証・大証一部上場
- 事業内容……食品を中心としたスーパーマーケットチェーン
- 沿革……明治43年 創業
昭和31年 清水実業株式会社を設立
昭和36年 豊中店(大阪府豊中市)を開設しスーパーマーケット形式による営業を開始
昭和46年 板橋店(東京都板橋区)を開設し首都圏に進出
昭和59年 東証・大証一部上場
平成6年 怒濤の大量出店開始
平成10年 食品スーパー売上高日本一を達成
平成18年 岩崎社長就任
平成19年 売上高4,000億円を達成
平成21年 売上高4,500億円を達成
平成24年 売上高4,800億円を達成
- 代表者……代表取締役会長兼CEO 清水 信次
代表取締役社長兼COO 岩崎 高治
- 事業所……【大阪本社】 大阪市東淀川区
【東京本社】 東京都台東区
【店舗】 大阪、兵庫、奈良、京都、東京、埼玉、千葉、神奈川
計224店舗(平成24年2月末)

経常利益推移



ライフの環境憲章

わたしたちはスーパーマーケットの立場から環境問題を考え、地域の皆様・お取引先様・従業員と協同し環境対策を進めてまいります

- ・CO₂削減のために省エネルギーに取り組みます。
 - ・3R(排出抑制・再使用・再生利用)に取り組みます。
 - ・環境に配慮した商品を取り扱います。
 - ・環境教育を推進し、従業員の意識を高めます。
 - ・環境問題への取り組みを定期的に社内外へ報告します。
- 2009年7月1日改定

経営理念

「志の高い信頼の経営」を通じて社会の発展向上に貢献する

- ・私利、私欲、私権におぼれず“人々の幸せ”を願い続ける
- ・人々とのふれあいから生まれる相互信頼を大切にする
- ・地域を支えていることに誇りをもち、地域に支えられていることに感謝する

ライフ行動基準

私たちは、「『志の高い信頼の経営』を通じて社会の発展向上に貢献する」という経営理念の下、社会的規範・法令・ルールを遵守し、お客様はもとより当社を取り巻く皆様から信頼されるスーパーマーケットとして社会に貢献いたします。

- 1.お客様の声に誠実におこたえし、公正な販売活動を通じて、適切に安全・安心と満足を提供いたします。
 - 2.当社にかかわる全ての人の人格、個性、多様性を尊重し、一人一人の人権と個人の尊厳を大切にいたします。
 - 3.公正、公明、自由な競争ならびに適正な取引を通じ、お取引先様の良きパートナーとして、共存・共栄をはかります。
 - 4.一人一人が自ら考え自ら行動する活力溢れ、かつ安全で働きやすい職場環境と、個々の能力、豊かな発想と挑戦意欲を発揮できる企業風土を創ります。
 - 5.環境活動への取組を自主的、積極的に推進するとともに、より良き社会の実現への貢献に努めます。
 - 6.事業活動上で知りうる個人情報・顧客情報あるいはインサイダー情報などの機密情報に対し、法令・ガイドラインを遵守して、安全対策を講じ必要かつ適切な保護・管理をいたします。
 - 7.反社会的勢力とは毅然として対決します。また行政や政治との関係を健全かつ正常に保ちます。
 - 8.株主様はもとより、広く社会とのコミュニケーションをはかり、企業情報を適切に開示するとともに、適切な広報活動を通じて会社の正しい評価と理解を得るように努めます。
 - 9.本基準の実現に自ら率先し、社会的規範・法令・ルール遵守の徹底を通じて企業価値の創造をはかります。
- 2007年3月1日改正

取り組みと体制

食の安全・安心について

品質保証体制

品質保証部を中心に関連各部署が連携して「食の安全・安心」を最優先に取り組みを進めています。

原材料が食品衛生法等の法律に違反していない事はもちろん、原産地・加工条件・食品添加物・残留農薬・アレルギー物質・遺伝子組み換え原料などの「安全・安心」に関する情報を確認しています。

食品工場（プロセスセンター）や店舗では衛生管理や従業員教育に徹底して取り組み、安全で安心できるお店づくり・商品づくりに努めています。

仕入れ・調達

仕入れを担当する商品部では専門知識を持った担当バイヤーが、食品の安全・安心とおいしさなど信頼のおける生産地やお取引先様を通じて商品を調達しています。事前に生産現場や原材料の内容・製造方法・流通過程などの情報を細かくチェックし、自社基準に適合した安全な食材・製品である事を確認します。



調査書の例



農場の視察

検査体制

仕入れた食材・製品を自主的に検査をする為に、最新鋭の検査機器を備えた検査室を首都圏と近畿圏に設置しています。

商品を計画的にサンプリングし、食品の微生物検査・理化学検査を行い、安全な食品である事を確認しています。

食品に使用されている原材料や添加物の内容・製造工程などが自社の品質基準と適合しているか確認する為に様々な調査票・検査や分析結果などの証明書の提出をお取引先様に要請しています。

また、必要に応じてそれらの工場を調査し、安全な食品が製造されているかを確認します。

放射性物質の対応については国の判断・指示に基づいた適切な対応を行うと共に、首都圏の商品検査室に放射線検査機器を導入設置し、行政の定めた「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」で食品の安全性の確認を行っています。



微生物自動検査機器



放射線検査機器

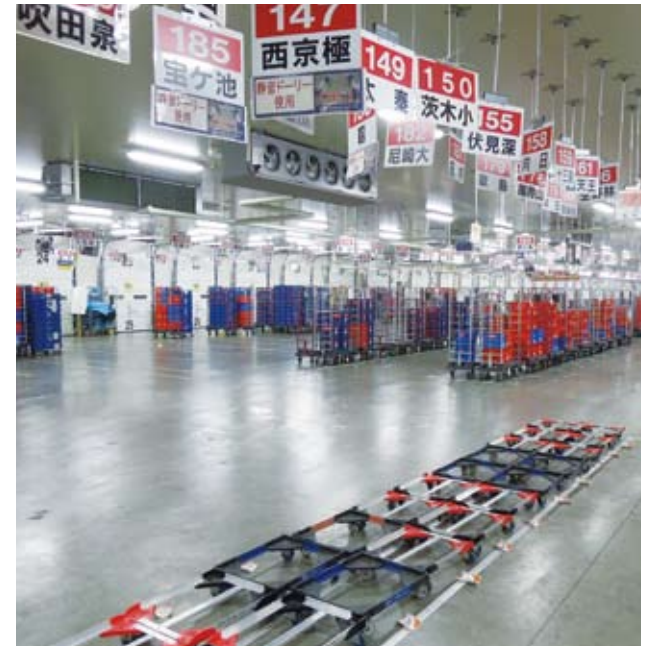
プロセスセンターでの取り組み

畜産物・水産物商品を製造するプロセスセンターでは低温に保たれた環境の中で厳格な自主基準に基づき、最新鋭の生産機器で新鮮で安全な商品の生産に取り組んでいます。プロセスセンターでは 2011 年に食品安全マネジメントシステムである ISO22000 を取得し品質管理体制を強化しました。

新鮮な商品を高鮮度に保ち店頭へお届けする為に、「コールドチェーン^{※1}」を確立しています。



プロセスセンター



低温物流センター

※1 コールドチェーン：生産・輸送・消費の過程の間で途切れる事無く低温に保つ流通方式。

店舗での取り組み

店舗では衛生管理を徹底した作業室（バックヤード）で商品化マニュアル・作業マニュアルに従い、自社品質基準に適合した商品づくりを行っています。また、衛生自主点検や第三者機関での衛生管理点検・産地表示やアレルギー表示などの表示点検・商品の計量や使用する計量器の自主検査を実施しています。

いつも安心してご購入いただけるよう、実際の消費期限・賞味期限より厳しい販売期限を設定し、衛生管理・温度管理に努め、商品の品質管理・鮮度維持をしています。



店舗衛生管理点検

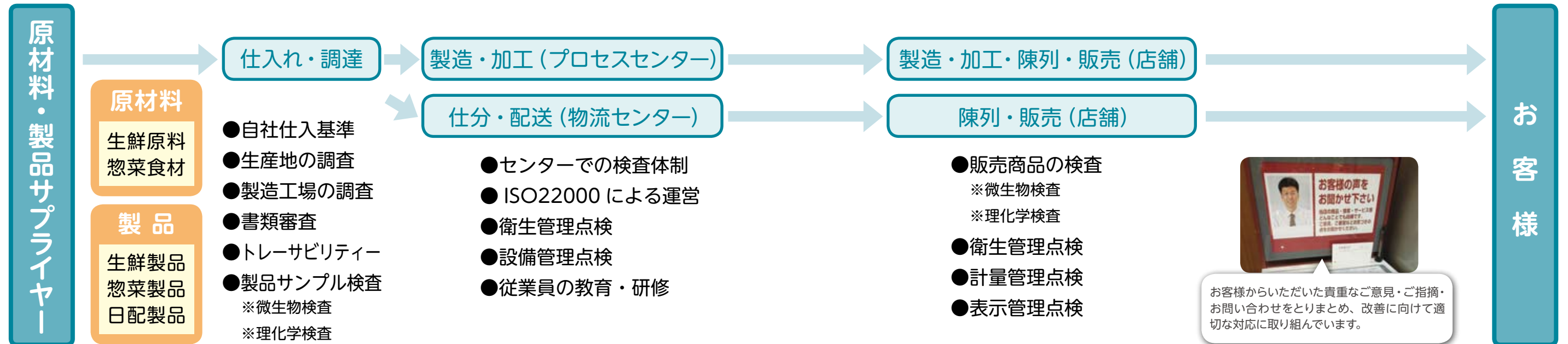
教育・訓練の取り組み

教育センターで専門知識や技術について計画的に集合教育や研修を行っています。各部門の商品群や品質管理についての専門的な知識や商品化技術の研鑽を積み、自社品質基準に適合した「安全で安心な」商品の製造・流通に努めています。

また、正確な表示を推進する為に食品表示検定協会の資格取得に取り組み、初級～上級合格者が 60 名以上となりました。

取り組みと体制

品質保証体制



農薬・肥料・動物用医薬など適切な生産管理を行っているかを確認します。



使用されている原材料・食品添加物や製造する設備機械・従事する従業員の衛生管理が適切かを確認します。



プロセスセンターでは衛生的な環境の下、自社基準に適合した製品を生産します。



物流センターでは低温管理された環境下で、製品を素早く仕分けします。



食品原材料や製品の細菌検査を実施し、安全な状態が維持されるようにモニタリングします。



プロセスセンター独自に使用する原材料や製品、作業場の衛生状態を検査・確認します。



プロセスセンターでは食品安全マネジメントシステムであるISO22000を取得し、さらなる品質管理の向上に努めています。



製品のpH・酸度・水分比率や官能面の検査を行い、製品規格通りに製造されているかを確認します。



店舗では衛生的な売り場・作業場の維持・管理に努め、年2回第三者機関が監査を行っています。



正確な計量業務を行う為に、毎年計量士による店頭商品の抜き取り計量検査と使用する計量器の検査点検を行っています。



省エネ・3Rの取り組み

店舗での省エネの取り組み

省エネ・CO₂削減に向けて、電力使用を抑制するシステムやLED照明・高効率な機器の採用などの取り組みとともに、ポスター掲示や研修により従業員の節電意識を高めています。

■電気の見える化

電気使用状況を店舗の全従業員がいつでもチェックできる電力使用量の見える化機器を導入することで、使用量の削減効果があがっていることから、導入店舗を増やしました。パートタイマー・アルバイトまで全従業員に意識付けできるよう、専門アドバイザーが指導・講習を実施しています。



■空調管理強化

荷さばき場の安定した空調管理のため、一部店舗に可動式風防カーテンを取り付けています。



照明スイッチにわかりやすくシールを貼り、不要な箇所の消灯に努めています。



売り場の窓にロールスクリーンを取り付け、日差しの強い時に店内の温度上昇を抑制します。



店内温度は冷房は28℃、暖房は20℃の環境省の推奨温度を実施しています。



■LEDライト

外部照明サインや非食品売り場の柱スポット照明などにLEDを採用しています。店内の全ての照明をLEDに変更した店舗もあります。



■照明の間引き

お客様の安全に十分注意しながら、売り場の照明器具を一部消灯・間引きを実施しています。



■ナイトカバー

閉店後に冷蔵・冷凍オープンショーケースにカバーを掛け、冷気の漏れを防止しています。



物流センター等での省エネの取り組み

店舗への商品供給を担う物流センターは、積載効率の改善・配送と集荷を1台で実施する工夫・配送ルートの見直しによる距離の短縮・日々の省エネ運転に取り組んでいます。また、順次ハイブリッド車等の環境対策車両の導入を行っています。

■本社の省エネ

エコアイス（氷蓄熱システム）の導入による省エネに併せて、空調・照明のタイマー制御による一斉消灯やエリア個別スイッチで無駄を削減しています。



■蓄熱ブライン冷却システム

夜間電力で蓄熱したエネルギーを活用した蓄熱ブライン冷却システムは経済性に優れ、冷凍機と環境にやさしいシステムです。

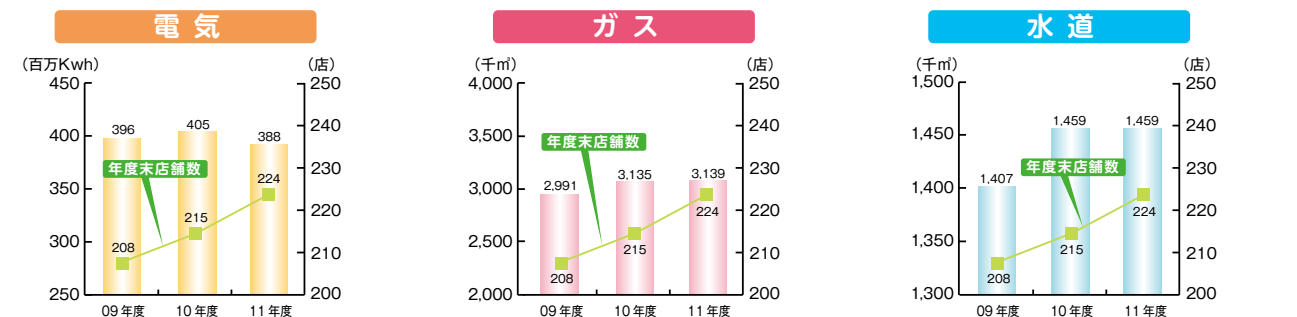


■自家発電機装置(栗橋プロセスセンター)

非常時に備えて栗橋プロセスセンターに自家発電機装置を設置しました。



電気・ガス・水道の使用量



社内啓発

従業員の環境問題に対する意識を高めるため、作業場や休憩室にポスターを掲示しています。



3R 省エネ・3Rの取り組み

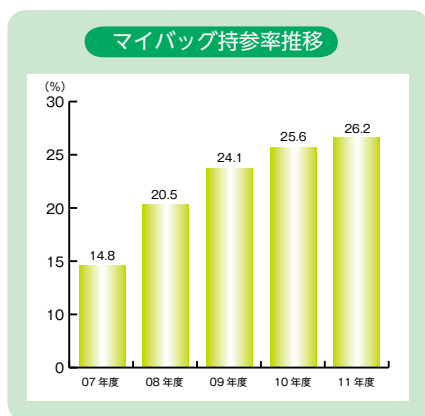
資源節約 (Reduce)の取り組み

マイバッグ持参運動ーレジ袋の削減へー

レジ袋をご辞退されたお客様に、当社ポイントカードにお買い上げポイントと合算されるエコポイントを 2 ポイント進呈しています。



毎月店舗ごとのマイバッグ持参率を集計し、ポスターでお知らせしています。



みどり東京・温暖化防止プロジェクト

2011年度のマイバッグ持参率は全店平均で26.2%となり、前年より0.6%向上しました。



東京都内の店舗で、レジ袋削減キャンペーンの呼びかけを強化しました。

地域との活動

ライフではCO₂削減のため、積極的に消費者の方々・地方自治体と一緒にレジ袋削減の取り組みを進めています。従業員にもマイバッグ持参を推奨しています。

大阪府



大阪府



大阪府吹田市



兵庫県西宮市



ラップや包装紙の削減

スーパーマーケットで使われるラップやトレーは食品の安全や衛生管理において大切なものですが、ライフではばら売りや簡易包装などにより、積極的に削減を進めています。

使用するトレーも強度を保ちながら重量を減らすことにより、資源の節約に努めています。



再利用 (Reuse)の取り組み

通い箱 (クレート) の利用

ダンボールや発泡スチロールなどの輸送用の容器を減らすため、通い箱 (クレート) の利用を拡大しています。ダンボールが大半であった野菜や果物でも通い箱を利用しています。また、積載効率を高めるためオリコンを活用し、配送中は荷崩れを防ぐために布製の備品 (ラックサポート) を使用しています。



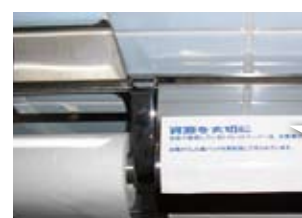
資源リサイクル (Recycle)の取り組み

地域の皆様にご協力いただいて資源のリサイクルに取り組んでいます。



牛乳パック

店頭で回収している牛乳パックは良質なパルプ資源です。ライフはリサイクル事業者に依頼して、回収した牛乳パックをトイレトペーパー等に再生しています。



資源を大切に
当店で使用している
トイレトペーパー
は、お客様からお預
かりした紙パックを
再利用して作られて
います。

トレー

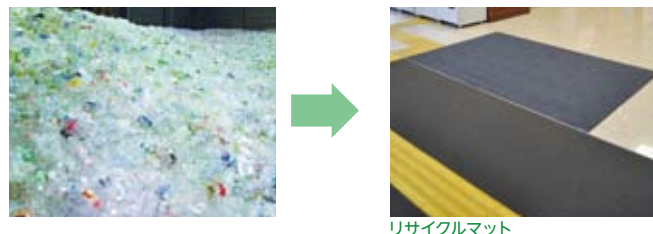
食品トレーは回収され、主に木くず・古紙と混合した高いカロリー固形燃料 (RPF) として利用されています。また、新しいトレーに生まれ変わるものもあります。



省エネ・3Rの取り組み

■ ペットボトル

回収されたペットボトルは細かく粉碎洗浄され、卵パックの原料となったり、繊維に加工された後カーペットや衣料品等にリサイクルされています。



■ ペットボトルキャップ

ペットボトルキャップは、NPO 法人エコキャップ推進協会、またはロータリークラブを通じてポリオ・ワクチンとして寄付しています。



■ アルミ缶

回収されたアルミ缶は表面の塗料・フィルムを取り除かれ、高温で溶かされて塊になります。それを薄い板にしてアルミ缶に再生されます。

■ スチール缶

スチール缶はプレス処理されて鉄スクラップ処理後、製鉄所で飲料用銅板や建築用資材の鉄筋・鉄骨などの原料となる鉄板に再生されます。

■ 発泡スチロール

鮮魚や果物の一部は産地から発泡スチロールに詰められて入荷するものがあります。ライフではこの発泡スチロールを集めて、粉碎・減容して板状に加工し、資源化しています。



■ 蛍光灯

蛍光灯は道路の舗装材やガラス製品にリサイクルされます。



■ OA 紙

シュレッダーで裁断された紙くずは再利用の原料や、トイレットペーパー・ティッシュペーパーにリサイクルされます。



■ インクカートリッジ里帰りプロジェクト

プリンターメーカー 6 社が 2008 年 4 月から開始した「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」。ライフも大阪市内全 50 店舗（2012 年 5 月現在）で専用回収箱を設置しています。回収品は再生カートリッジとして再使用するほか、ボールペンなどの材料とするなど様々な用途で再利用されます。また、回収したインクカートリッジ 1 個につき 3 円を、プリンターメーカー 6 社が国連環境計画（UNEP）へ寄付し環境保全活動に活用されています。



■ 乾電池回収BOX



乾電池の回収ボックスを設置している店舗もあります。

■ 休憩室分別BOX



従業員休憩室に分別ボックスを設置しています。

あだちエコネット



あだちエコネットとは足立区環境基本方針・実施計画（2006 年策定）の重点プロジェクトの一つで、区民・地域・学校・商店街・各種団体・事業者がネットワークを組み、区と共同で取り組む事業です。ライフでは、足立区全 8 店舗でペットボトル回収機を設置しています。

西宮市EWCエコカード

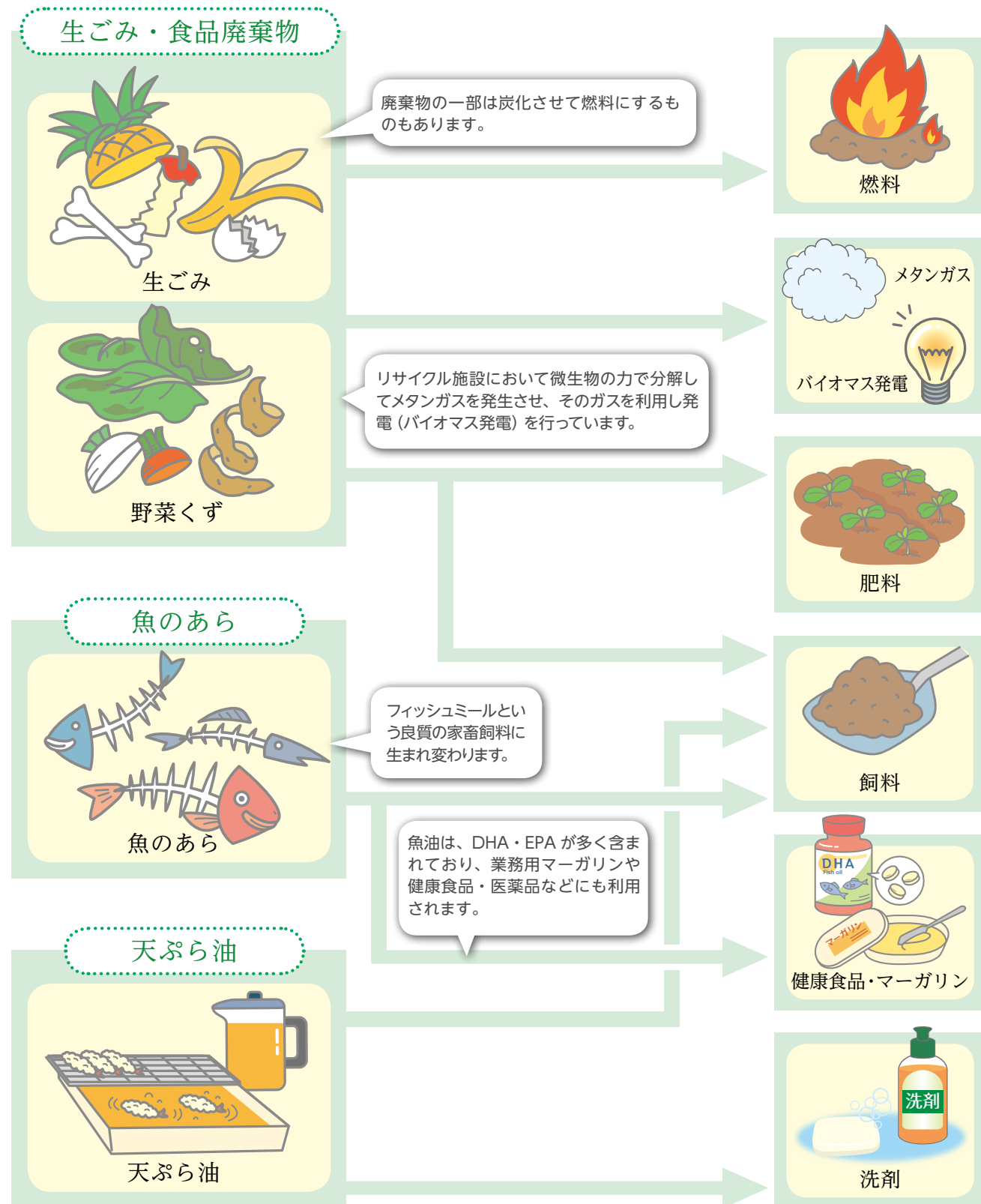


EWCエコカードシステムは、西宮市で1992年に始まった地球ウォッチングクラブ(EWC)活動の中のひとつです。同カードは西宮市内の小学生全員に学校を通じて配布されています。ライフではマイバッグの持参、牛乳パックやペットボトルなどをリサイクルボックスへ持ってきてくれた子どもたちにエコスタンプを押しています。

食品リサイクル(Recycle)の取り組み

店舗やプロセスセンターでの調理や加工の時にできるだけ生ごみを出さない工夫をしていますが、どうしても発生してしまいます。また、天ぷらなどを揚げた調理用油も酸化が進む前に交換が必要です。

ライフではこれらの食品廃棄物のリサイクルに積極的に取り組んでいます。



地域の皆様と

食育体験学習

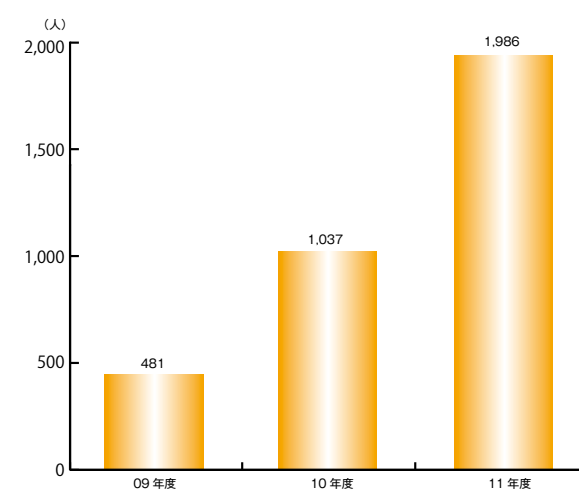
食育体験学習では、栄養士の指導で普段の食生活に不足しがちな野菜・果物など食品の栄養やバランスの良い食事の大切さについて学習します。ライフオリジナルテキストを使用した座学や、実際に売り場で野菜や果物を選ぶお買い物ゲームはスーパーマーケットならではの体験として毎回好評を得ています。



■オリジナルテキスト

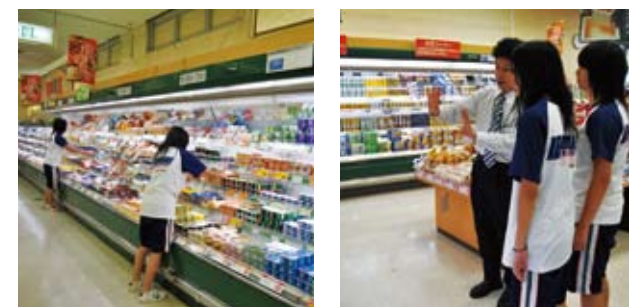


■食育体験学習参加人数



■社会科見学・職場体験

地域社会とのコミュニケーションの一環として、小学生の社会科見学の場として店舗を訪れていただいています。2011年度は全店合計で約14,389人の小学生が店舗の売り場や、日ごろは入れない大きな冷蔵庫・冷凍庫のある作業場等を見学しました。



職場体験学習も実施しています。



食育体験学習や社会科見学に参加した子どもたちから、お礼の作文やはがきが届いています。

■スーパーマーケット探検隊

訪問してくれた生徒さんに、スーパーマーケットの仕組みを分かりやすく解説した「スーパーマーケット探検隊」をお渡ししています。良い副教材になると先生方にも好評です。



地域の皆様と

従業員参加寄付活動

ライフでは読み終わった書籍や不要となったCD・ゲームなどを従業員から提供してもらい、それらを売却して得た収益金を全額寄付しました。



お取引先様との共同寄付活動

■ライフ×アサヒビール……………

アサヒビール株式会社様と共同で、対象商品をお買い上げいただいた売り上げの一部を環境教育活動に役立てていただくよう、「公益社団法人日本環境教育フォーラム」に寄付しました。



ハートデザインプロジェクト

王子ネピア株式会社様の「ハートデザインプロジェクト」対象商品を限定発売しています。売り上げの一部は財団法人日本グラウンドワーク協会を通じて「大阪水都再生基金」と「こども環境活動支援協会」へ助成金として活用されています。



店頭募金

全店で実施した東日本大震災募金活動に、多くのお客様のご理解・ご支援をいただきました。お預かりした募金はあしなが育英会を通じて被災地の復興に役立てていただきます。



■ライフ×サントリービア&スピリッツ

サントリービア&スピリッツ株式会社様と共同で、対象商品の売り上げの一部を寄付し、大阪府のみどりを増やすために役立てていただいています。



大江戸清掃隊

街の美化のため、東京本社がある台東区で実施している清掃活動「大江戸清掃隊」。月1回有志による清掃を行っています。



人にやさしい店づくり

店舗ごとに設置状況が異なります。恐れ入りますが、設備の有無は各店舗へお問い合わせください。

■多目的機能トイレ

車いすに乗ったお客様が快適にご使用いただけるよう、十分なスペースを確保しています。乳幼児をお連れのお客様向けにオムツ替えシートも設置しています。



■補助犬受け入れ

盲導犬・介助犬・聴導犬の同伴入店を受け入れています。



■AED

レストスペースにAEDを設置しています。(大倉山店)



■充電電気スタンド

駐車場に充電電気スタンドを設置しています。(大倉山店)



■お客様の声

2011年度は、5,215件のご意見をいただきました。



■車いすの設置

店内でご利用いただける車いすを用意しています。



■車いす専用駐車場・スロープ

お体の不自由な方が車でご来店された場合でも安心してご利用いただけるよう、店舗入り口の一番近い所に専用駐車スペースを確保し、入り口にはスロープを設置しています。



災害時応援協定、津波災害・水害避難施設協定

現在、近畿圏では西宮市・福崎町・豊中市・八尾市・箕面市・八幡市・大淀町、首都圏では墨田区・江戸川区・横浜市・松戸市・宮代町などの自治体と災害時の物資供給に関する協定を結んでいます。

また、東日本大震災での津波による被害を教訓とした大阪市の『津波被害・水害時における緊急一時避難施設協定』を締結し、西九条店と西大橋店が登録されました。